

創立25周年記念

“運動会”

来たる8月26日(日) AM10:00~
香椎工業高グラウンドで

【本店=6月22日】当社は、6月22日午後1時から本店会議室で創立25周年運動会運営会議を行った。

今回予定している運動会は、当社創立25周年記念行事の一環として催すもので、従来はスポーツ交流会としてソフトボール大会、バレーボール大会を行っていたが、今回、より多くの従業員やその家族、さらに火友会の先輩方なども参加できるようにと企画したのである。各所の運営委員が集まり、日時、場所、競技種目等を熱心に検討した。

これによると、8月26日(日曜)午前10時から昨年のスポーツ交流会場と同じ福岡県立香椎工業高校グラウンド(福岡市東区大字浜男)で行う

ことになった。午前の部は午前10時から①開会式②100m競争予選③百足競争④借り物競争⑤ボール渡し競争⑥事業所対抗リレー予選。午後の部は①玉入れ競争②障害物競争③綱引き④100m競争決勝⑤事業所対抗リレー決勝⑥閉会式で午後2時40分頃終了の予定。各所の応援合戦は従来のように特別の時間は設けず、各々の競技中の応援を対象に採点する。また、これらの競技の特性から各所を大きく東西の地区に2分し、各所ごとにも色別する。東西地区別各所色別は次のとおり。

東地区

本店(黄緑)、小倉(茶)、荻田(黄)、豊前建(白紺)、豊前事(

青)、大分(白緑)、八丁原(白ピンク)、戸畑(白赤)

西地区

新相浦(オレンジ)、大村(緑)唐津(紫)、大牟田(ピンク)、玄海事(白)、玄海建(エンジ)、松島(赤)、川内事建(水色)

さらに各競技出場者は胸に事業所名のゼッケンをつける。

従来は各所の試合時間に合わせて当日来場していたが、今回は開会式から一斉に揃って始めるため、遠方の事業所と家族を対象に前日来福して宿泊する準備も整えている。

当社初のこの運動会は、従業員はもとよりその家族の方がた、火友会の先輩の方がたの多数の参加で、例年のスポーツ交流会以上の盛り上がりが見込まれる。

* * *

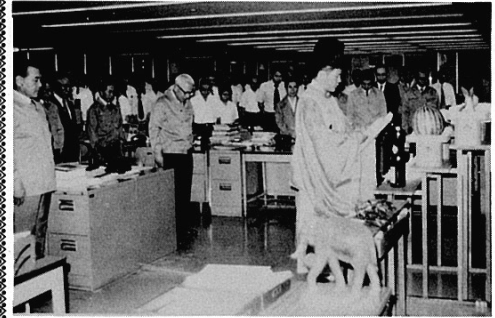
7月2日

本店でも安全祈願祭行う

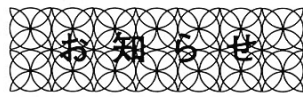
【本店=7月2日】全国安全週間が7月1日から始まり、当社の各事業所、建設所では、7月2日に安全意識高揚のためにさまざまな安全行事を行ったが、本店でも

同日午前9時から安全祈願祭を行った。

電気ビル4階フロア中央の祭壇前には、石崎社長以下、役員幹部本店勤務の全従業員が集し、神主のおはらいを受けた後、会社、組合、NPC協力会の各代表がそれぞれ神前に玉串を捧げ、当社ならびに協力業者全従業員の安全を祈願した。



本店での安全祈願祭



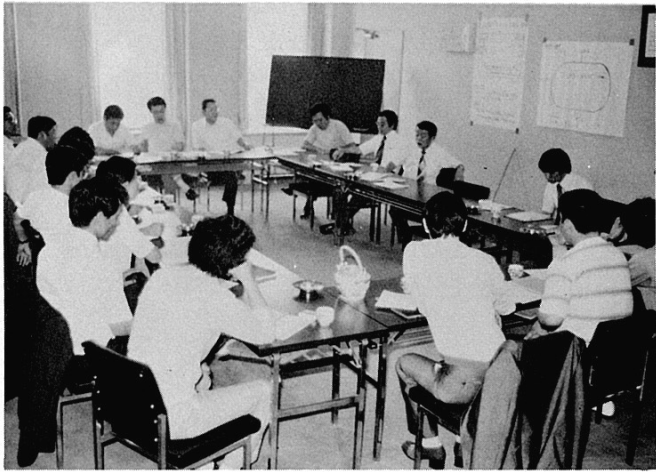
このたび小倉事業所「東寮」の寮生が「中原寮」へ移りました。

(住所) 〒804

北九州市戸畑区大字中原字先の浜46-17

西日本プラント工業(株) 中原寮(電話)

093-883-2099



各所から集まって運営会議

安全ミニ・ニュース

安全ルールの習慣化を

社会にはいろいろなルールがあります。そのルールを守ることによって人々はお互い安心して楽しい社会生活を送ることができています。もし、このルールを守らなかつたらどうなるでしょうか。

身近なスポーツについて考えてみると明らかです。ルールがあり、それを守ってこそ初めてスポーツという競技が成り立っているのあり、そのスポーツの面白味も出てくるのです。しかも、我々はそのスポーツのルールを無意識のうちに了解し、それに従ってプレイする習慣がついていると言えます。そこで安全のルールについて考えてみましょう。

機械・器具その他設備に取り付けて作業者の身体を守り、設備の破損を最小限に止めるためにある安全装置に対し、作業をする場合に作業者自身が身体に着け、自己の身体を怪我や病氣から守るものを保護具といい、作業中は必ずこの保護具を着用するというルールがあります。作業によっては、それに合った保護具をつけるようになっています。

保護具を着けたがらない人の意見を聞くと「じゃまだ」とか「違和感がある」とか「うっとおしい」

など感覚上の問題をあげます。「自分の体は自分で守ります」と安全の誓いにあるように、自分だけは大丈夫だと思わず、少しぐらいの違和感は我慢しなければなりません。第一保護具を着ける習慣がつくと違和感など感じなくなるものです。

また、「保護具を着けるのは素人のやることでオレたちベテランは必要ない」と言う人もいます。しかし、「猿も木から落ちる」と諺にあるように、いつ最悪の事態になるかわかりません。自分は気をつけていても上からナット等が落ちてくるかもしれません。そういう時のために保護具があることを忘れてはいけません。ほんとの職人とは、誰がみても安心して見ていられるような人と言えるでしょう。

暑い日が続くと服装が乱れ、保護具もきちんと着用しなくなりがちです。この様な時は気も緩みがちになりますので、安全帽、安全帯などの保護具をきちんと着け、気を引き締める必要があります。安全のルールを守る習慣をつけることが、より一層の安全施工につながるのです。

* * *

新小倉4号機運開(6月1日)

九州最大の発電所に

<1号機~4号機で151万2千KW>

【新小倉=6月15日】当社は、北九州市小倉北区西港町の九州電力株式会社新小倉発電所4号機(出力60万KW)の建設据付工事を行っていたが、このたび6月1日営業運転を開始した。これに伴って当社新小倉建設所は6月15日に廃止した。

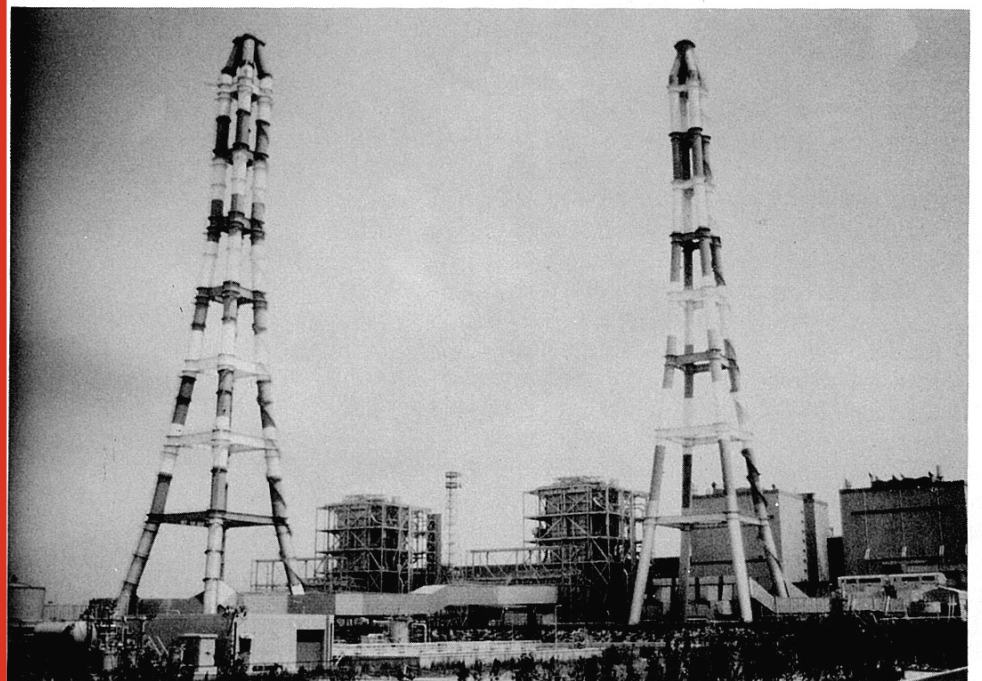
同発電所4号機建設は3号機(53年9月営業運転開始)建設と並行して行っていたもので、51年8月に当社新小倉建設所を開設して以来、11月に中原寮が竣工、翌52年5月に4号機の立柱式、11月ボイラセパレーター揚げ、53年11月ボイラ火入れ、そして本年1月にタービン通気と工事は順調に進み1月27日の初並列後試運転をしていたが、この6月1日に営業運転の運びとなったのである。

4号機は3号機と同様LNG専焼ボイラの蒸発量は2,030T/H、タービン発電機の出力は60万KWであり、同発電所の1号機、2号機(各々出力15万6,000KW)、3号機と合せて総出力が151万2,000KWとなり九州で最大の発電所となった。

3号機、4号機と続いての長い工期ではあったが、客先、メーカーの方がたの適切な指導はもとより、当社建設所速水所長以下多くの従業員の「誠実な施工」への努力で、現在両機とも順調な稼働を続けている。なお、各機器据付の主な工事受注先は次のとおりである。

○ボイラ据付および電気計装→三菱重工株式会社社長崎造船所

- タービン・発電機据付および電気計装→東芝プラント建設株式会社
○エヤーヒーター据付→ガデリウス株式会社
○220KV開閉装置およびリアクトル据付→三菱電機株式会社
○主変圧器および所内変圧器据付→日立プラント建設株式会社
○補給水処理装置および復水脱塩装置据付→オルガノ株式会社
○海水除塵装置据付→宇部興産株式会社
○循環水管配管→丸誠重工業株式会社
○碍子洗浄配管→日本碍子株式会社
○境川トンネルを含むLNG輸送管配管→九州電力株式会社、新日本製鉄株式会社。



新小倉発電所全景